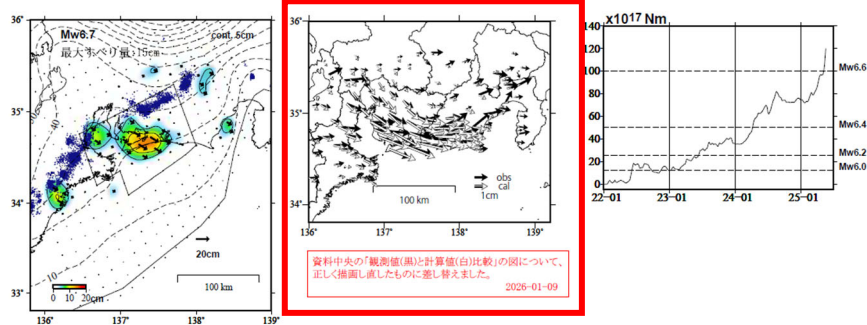


「南海トラフ地震関連解説情報について ー最近の南海トラフ周辺の地殻活動ー」の26ページ
修正内容 観測値と計算値の比較図（国土地理院資料）の差し替え

正

GNSSデータから推定された東海地域の長期的ゆっくりすべり（暫定）
推定すべり分布
(2022-01-01/2025-05-21)
観測値（黒）と計算値（白）の比較
(2022-01-01/2025-05-21)
モーメント* 時系列（試算）



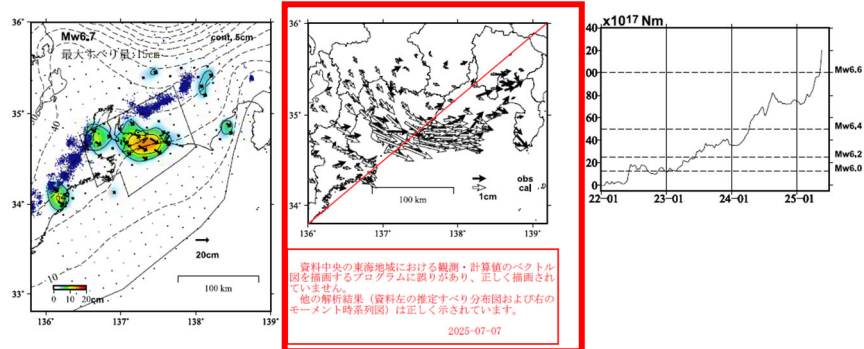
※及び最大すべり量はプレート面によって算出した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは各半箇に分割したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグラフィックを黒色で表示している。
使用データ: GONNETによる日々の座標値(F5解、R5解)
F5解(2021-07-01/2025-05-03)・R5解(2025-05-04/2025-05-21)
トレンド期間: 2020-01-01/2022-01-01 (年間・半年成分は補正なし)
モーメント計算範囲: 右図の範囲内側
観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルタで平滑化した値
加減線: フィリピン海プレート上面の等深線(Ri rose et al., 2008)
すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束
青丸: 低周波地震（気象庁一元化震源）（期間: 2022-01-01/2025-05-21）
固定局: 三隅

*電子基準点の保守等による変動は補正している。
*平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の粘弾性変形は補正している(Suito 2017)
*気象庁カタログ(2017年以降)の短期ゆっくりすべりを補正している。
*共通誤差成分を推定していない。
*令和6年能登半島地震に伴う地殻変動は補正している。
*令和6年能登半島地震の粘弾性変形は補正している。
*モーメント: 断層運動のエネルギーの目安となる量。

国土地理院

誤

GNSSデータから推定された東海地域の長期的ゆっくりすべり（暫定）
推定すべり分布
(2022-01-01/2025-05-21)
観測値（黒）と計算値（白）の比較
(2022-01-01/2025-05-21)
モーメント* 時系列（試算）



※及び最大すべり量はプレート面によって算出した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは各半箇に分割したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグラフィックを黒色で表示している。
使用データ: GONNETによる日々の座標値(F5解、R5解)
F5解(2021-07-01/2025-05-03)・R5解(2025-05-04/2025-05-21)
トレンド期間: 2020-01-01/2022-01-01 (年間・半年成分は補正なし)
モーメント計算範囲: 右図の範囲内側
観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルタで平滑化した値
加減線: フィリピン海プレート上面の等深線(Ri rose et al., 2008)
すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束
青丸: 低周波地震（気象庁一元化震源）（期間: 2022-01-01/2025-05-21）
固定局: 三隅

*電子基準点の保守等による変動は補正している。
*平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の粘弾性変形は補正している(Suito 2017)
*気象庁カタログ(2017年以降)の短期ゆっくりすべりを補正している。
*共通誤差成分を推定していない。
*令和6年能登半島地震に伴う地殻変動は補正している。
*令和6年能登半島地震の粘弾性変形は補正している。
*モーメント: 断層運動のエネルギーの目安となる量。

国土地理院